第12号

# 船橋里山通信

2015年８月１５日発行
船橋里山通信　第１２号
発行者；船橋里山連絡会
会長　　石田　秀雄
TEL　０９０－２６３９－３２３６

**熱中症・スズメバチ**

## 夏期活動の安全と予防

残暑お見舞い申し上げます。今夏は例年以上の猛暑となっています。前回の通信１１号に添付の林野庁の「林業安全コラム」でも、熱中症の予防と対策に関する呼びかけがありました。この件に関し、各団体に対し、夏期の活動状況等について、アンケート形式で尋ねました。結果は別表の通りです。

下刈り　こぴすくらぶの活動

### 各団体からの回答

**１　８月の活動について**　　会の名称の短縮

①　休止　こぴす、おどろ林、里山の四季、ＦＦ
理由　猛暑（熱中症）対策、高齢者への配慮、地域の行事参加のため。森の中は涼しいが、行き帰りは暑いため。

②　休止せず
ブリサ、神保の森林（午前中のみ）、木の子の森

**２　活動時間の配慮**

①あり　こぴす　気温３０度超の予報日は、作業時間３０分ごとに１５分間休憩を取る。
おどろ林、木の子の森　　サマータイム制　８時～１２時（おどろ林）、９時~１２時（木の子の森）
＊夏期の活動時間　おどろ林　７，９月は８時～１２時
神保の森林　１０時～１１時半頃まで

②　特にせず、平常通り
ブリサ、　里山の四季（月２回なので）、ＦＦ

**３　ハチ対策**

①取っている　　こぴす、ブリサ、里山の四季
＊ハチ退治のスプレー缶を常備　・ハチトラップ　の取り付け（こぴす、里山の四季）
４月頃より作業予定地に設置。春先に女王蜂を多数捕獲できたためか、該当地ではスズメバチの飛翔を見かけず、有効性を実感した。（こぴす）

②　特に取らず　　木の子の森、ＦＦ
オープンイベントを年３回開催しているが、以前ビオネストの中に巣を作られ往生した。以後普段から森の見回りを１回／月実施している。（木の子の森）

**４　他団体へのメッセージ**

町中で、駅から自宅への歩き（活動後の帰宅中）で、熱中症になりかけた。注意を・・里山の四季

**スズメバチトラップ**
**こぴすくらぶの取り組み**

ハチトラップから取りだしたスズメバチ。

アシナガバチ、スズメバチ等々が活躍する夏の森で、私たちは無力です。刺されないように注意する、刺されたときの処置は素早く、ということしかできません。ただハチの存在を認知して、近づかない工夫はできます。「こぴすくらぶ」では、「ハチトラップ」を使って、ハチ情報を集め、危険予防に役立てています。

ハチの誘引液の交換。放置すると液が蒸発してしまう。

**ハチに刺され、心配なときは、救急車を呼ぶ**

筆者は森の作業中に２回連続してハチに刺され、医療センターに直行したものの２時間も待たされました。担当の医師から「救急車ならすぐ診てあげられたのに。」と言われました。参考までに。

**フィールドの植物**

キツネノカミソリ・

ヤマユリ

タツナミソウ

編集子より　熱中症の予兆は人によってさまざまです。声がかすれる、頭痛、吐き気、めまい、視覚の異常等々、フィールドで聞いた症状です。こんな時は活動を中止して木陰等で安静に。